

大会注意事項

- 1、 出場選手は定刻までに来場し本部に届ける。対戦は最低1チーム4名で成立する。(ダブルスNo.3が棄権となる) その日の初戦は定刻まで来場した者、次戦からは本部に届け出て確認後、オーダー交換時に在場の者のみが対戦資格者となる。なお、感染予防に努め、会場の利用規定を順守する。試合は、全種目ダブルス3の団体戦で行い、男子A・B級・60歳クラスおよび女子A・B級は、リーグ戦(原則3チーム)の各1位チームによる決勝トーナメントを行う。リーグ戦・決勝トーナメントとも、1セットマッチ(6-6 タイブレイク、ノーアドバンテージ方式)で行う。
 - ① オーダー表は本部で確認を受けてからコートに行き、試合前にオーダー表の交換を行う。提出後のメンバー変更は認めない。
 - ② 試合はダブルスNo.3、ダブルスNo.2、ダブルスNo.1の順序で行い、最低4名(2ダブルス)で成立する。4名で対戦する場合はダブルスNo.3を不戦敗とする。
対戦双方が4名で対戦し試合結果が1-1となった場合は、得失ゲーム差により、また、得失ゲーム数が同数の場合は、ダブルスNo.1の勝者のチームを勝ちとする。
 - ③ 3チームリーグ戦において、1チーム棄権の場合はスコア0-6とし、出場2チームの1対戦で勝敗を決することとする。ドロー上で最初から2チームの場合はメンバー変更可の2回対戦とし、1対1になった場合、得失ゲーム差で勝敗を決する。同数の場合、No.1、次にNo.2、No.3の順で決する。未決着の時、代表ペアによるマッチ・タイブレイク方式で行う。
- 2、 同じ選手が1対戦において、2試合重複して出場した場合や、不在の選手をオーダー票に記載した場合、あるいは登録されていない選手が出場したことが判明した場合は、直ちにそのチームを失格とする。
- 3、 試合中、各コートに1名のベンチコーチ(登録メンバーに限る)を置くことが出来る。ベンチコーチはエンドの交代のとき、選手にコーチングすることが出来る。ただし、第一ゲーム後とタイブレイク・ゲーム中のエンド交代のときは出来ない。ベンチコーチ以外のコーチングは一切出来ない。ベンチコーチは、ゲーム途中の入退場はできない。
- 4、 選手はテニスシューズおよびテニスウェアを着用する。(Tシャツの着用は認めない。) ロゴに関しては、テニスルールブック2022による。
- 5、 試合のコールがあれば直ちに指定されたコートで試合に入る。
試合前のウォーミングアップはなく、各選手4本ずつのサーブで直ちに試合を開始する。
- 6、 試合は連続して行い、理由なく試合の中断または遅延は認められない。(25秒90秒ルールの厳守。)
- 7、 試合中の事故による怪我等(試合中の事故の結果として起こったもの)によるメディカルタイムアウトは1試合1度だけ3分以内で取る事が出来る。けいれん等体力の消耗では取れない。
- 8、 試合球はダンロップフォートとする。1対戦あたり6球で行う。
- 9、 スtringスの切れたラケットで新しいポイントをプレーすることは出来ない。
- 10、 審判は対戦チーム双方で話し合い、SCUまたはセルフジャッジ方式で行なう。
- 11、 勝利チームの監督は試合終了挨拶後、直ちに結果の記入されたスコア用紙を本部に提出する。
使用済ボールは本部回収とする。
- 12、 大会運営上、勝敗の決定した後の第3試合を中止することがある。
- 13、 雨天の場合、選手は天候の如何にかかわらず指定会場に来場し、主催者による今後の指示(定刻の変更、日程および会場の変更等)を確認する。
- 14、 大会中または試合中に疑義が生じた場合は、ロービングアンパイアを通じてレフェリーに問い合わせる。レフェリーは日本テニス協会テニスルールブック2022に基づき裁定する。